

第2章 古墳出土資料が語る年代

この章では、古墳から出土した様々な遺物から、年代の定点に迫っていきます。

ただし、遺物が製作された年代と、それらが埋納、ないしは廃棄された年代との間には、ある程度の開きがあるということには注意が必要です。例えば、古墳の周濠から木製品が出土するケースを考えてみましょう。古代の人々が木を切り倒し、製材し、加工して何らかの製品の形に仕上げ、それを使用して、古墳の周濠に廃棄するまでに、一定の期間が経過しています。したがって、出土木製品を年輪年代法などで測定した数値がそのまま古墳の築造年代にはなりません。

他にも遺物が長期間に渡って受け継がれる「伝世」や、大型古墳の築造に10年以上かかることを考えると、出土遺物から古墳の築造年代をびたりと言いつけることは困難なのです。したがって本章では、遺物の製作年代を中心としながら、古墳時代における年代の枠組みを推定していきましょう。